



決算説明会

41期(2009年3月期)

大研医器株式会社

2009年5月27日

代表取締役社長

常務取締役管理本部長

管理本部財務経理統括マネジャー

山田 圭一

大浜 正彦

平井 靖人

目次

I .事業概要

II .2009年3月期 決算概要

III .2010年3月期 業績見通し・成長戦略



I. 事業概要



「クーデック」とは、「クーデター・バイ・テクノロジー」という意味の造語で、当社が展開する商品の統一ブランドです。独創的な技術で医療に革命をもたらしたいという、当社の想いが込められています。

会社概要



社名	大研医器株式会社
所在地	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
代表者	代表取締役会長 山田 満 代表取締役社長 山田 圭一
設立	1968年11月
資本金	495百万円(2009年3月末)
従業員数	110名(2009年3月末)
事業種目	医療用機械器具製造販売
売上高	51億8,178万円(2009年3月期)
経常利益	6億3,585万円(2009年3月期)

事業の特徴と方向性

- 当社は大学病院等の最先端医療現場のニーズから、特許性のある画期的な製品を開発する研究開発型の医療機器メーカーである。
- 大手病院に対して直接営業を行い、医療現場と太いパイプでつながっている。
- 採算性の高いディスプレイ製品を主軸としており、既存ユーザーからの安定的な需要を確保している。
- 今後、当社が得意とする麻酔科領域と連携している外科、救命救急等へ対象医科領域を拡大し、製品開発を進めていく。
- 国内の約10倍の市場規模を有する海外への展開を積極的に推進していく。

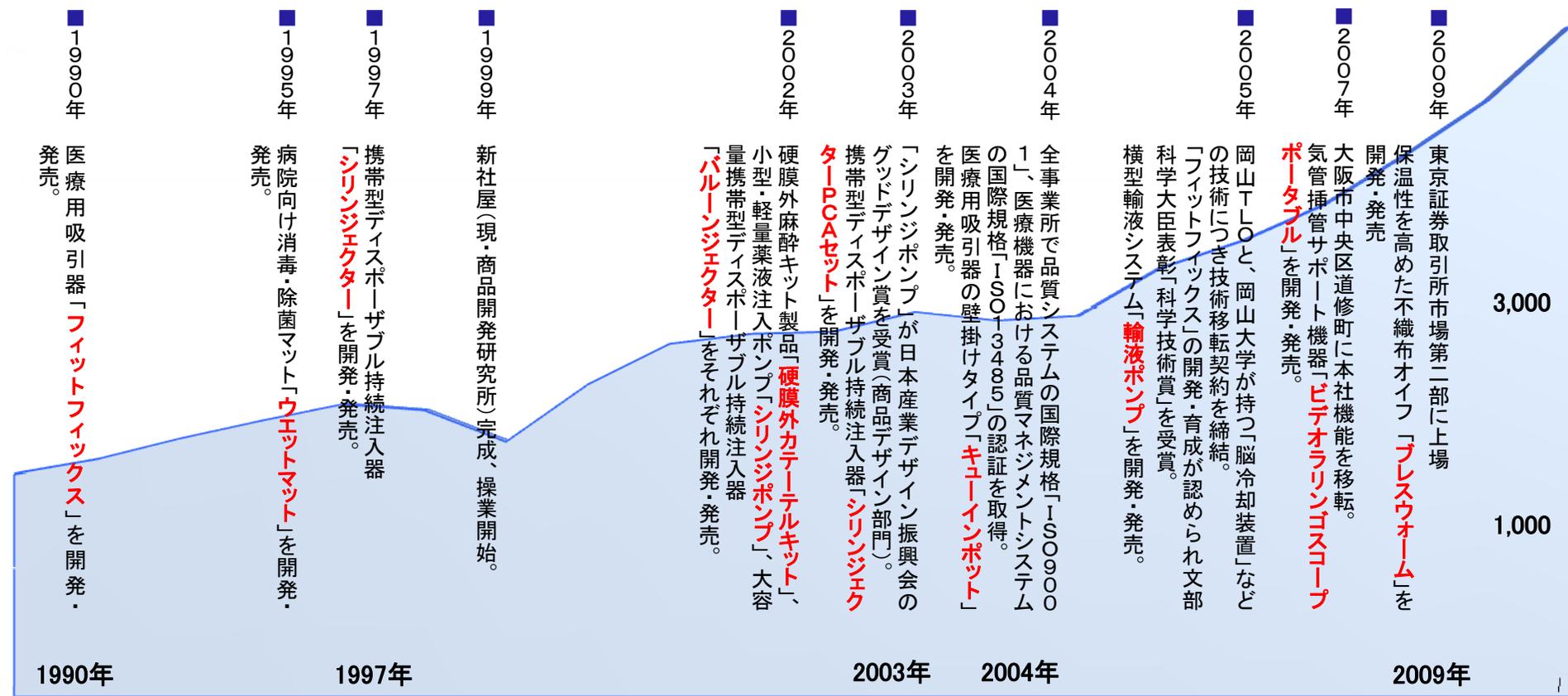
医療現場第一主義の研究開発型医療機器メーカー

沿革

1968年	医療機器販売会社として創業
1990年	本格的なメーカーとして始動

売上高の推移
(百万円)

2008年度 5,181



事業セグメント(2009.03期)



手洗い装置関連

無菌水で手を洗う装置
 右は手を拭くワイペル

フィットフィックス関連

フィットフィックス

医療用吸引器、血液凝固剤が既に入っている密封容器、血液の漏出が無く安全に廃棄



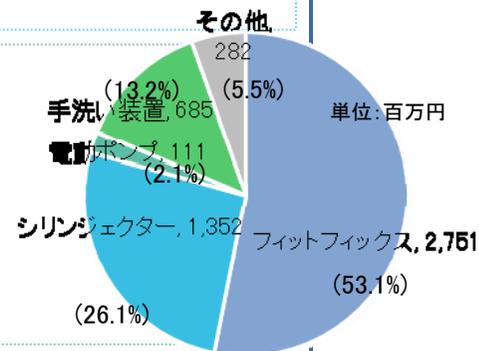
QinPot

05.3期に投入された新製品
 病棟における廃液処理に便利



電動ポンプ関連

電動式ポンプ、何台もまとめられるコンパクトな装置



シリンジェクター関連



流量制御のためのスパイラル細管と真空を利用して一定の薬液投与を確保

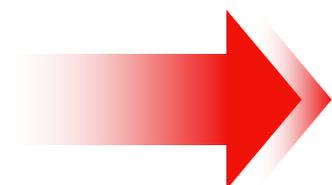
ディスプレイザブル製品が主軸

主要製品概要 ~フィットフィックス関連(吸引器)

ガラス瓶



院内感染の脅威



特許第2905327号
特許第2609810号

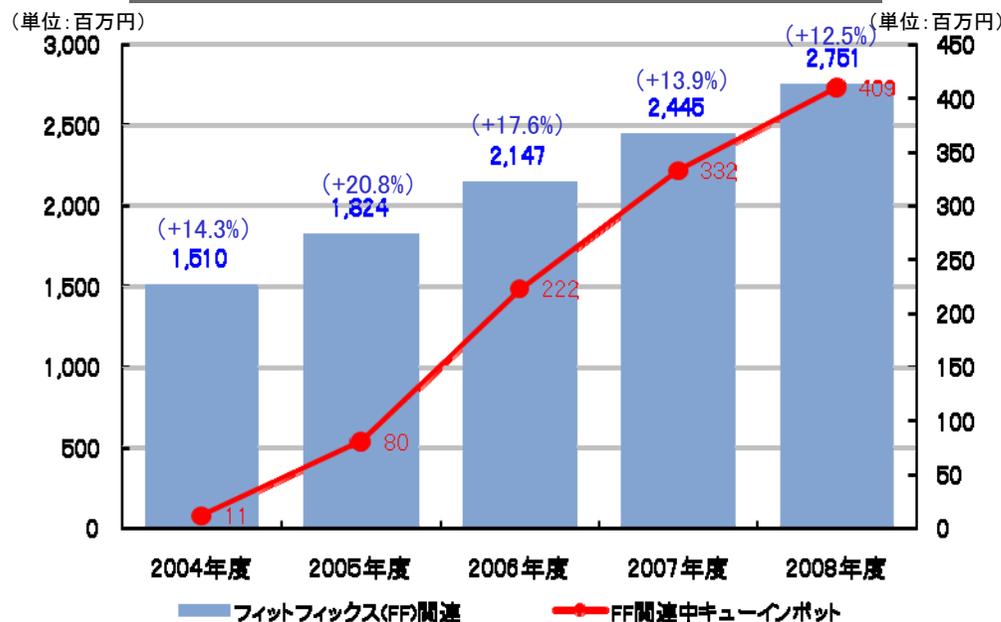


特願2005-506948

フィットフィックス®

PinPot®

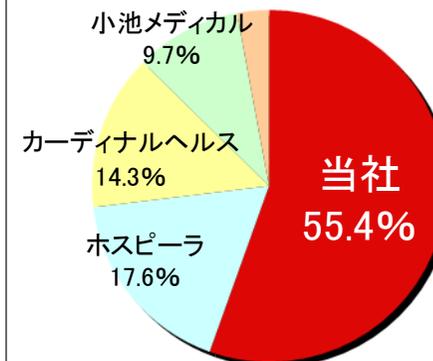
フィットフィックス関連売上推移



手術中に出る血液・体液等の廃液を吸引し、密閉容器内で凝固する凝固剤一体型吸引器。

血液暴露による感染症を防止し、看護師の負担を大幅に軽減できる。

**ガラス瓶からの
置換えで
約40億円の市場を
創出**



国内シェア(2006年度)

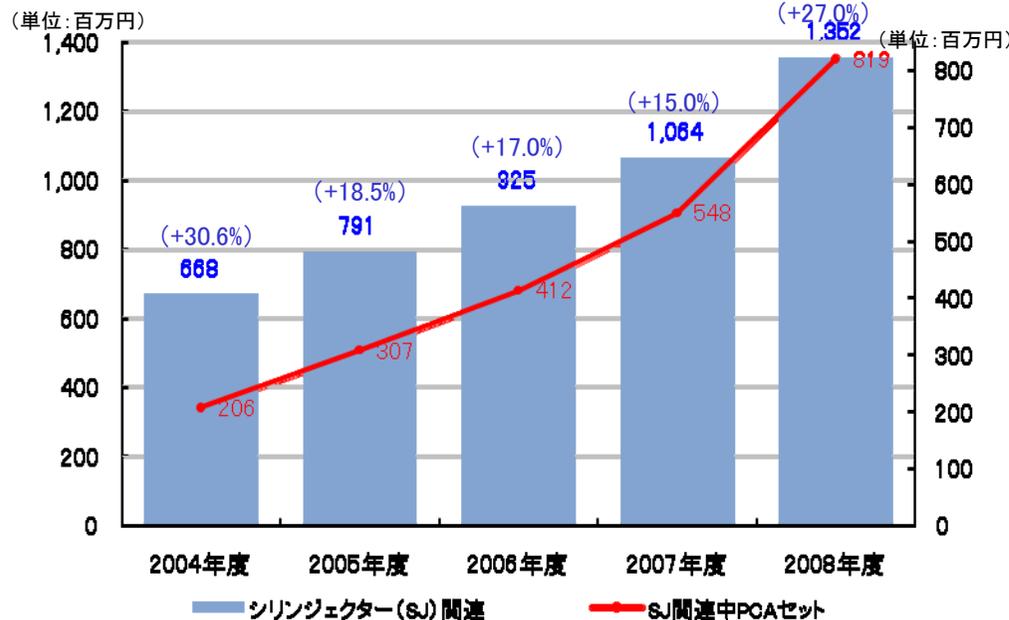
出典：矢野経済研究所

「2007年版 汎用品市場の将来展望」

主要製品概要 ～シリンジェクター関連(持続注入器)



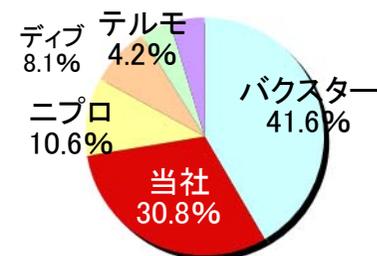
シリンジェクター関連売上推移



麻酔剤、鎮痛剤等を持続的に一定の流量で投与するために使用する製品。

特許技術の大気圧式による注入器「シリンジェクター」は、流量の安定性が高く、効果的な医薬品投与を可能にする。

医療の質を高める
製品を開発
後発ながら
トップランナーを凌駕



国内シェア(2006年度)

出典：矢野経済研究所

「2007年版 汎用品市場の将来展望」



Ⅱ. 2009年3月期 決算概要

□ 3期連続2ケタ増収増益

(単位:百万円)

	2007年3月期		2008年3月期		2009年3月期	
	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率
売上高	4,186	10%	4,608	10%	5,181	12%
売上総利益(率)	2,179 (52%)	4%	2,272 (49%)	4%	2,535 (49%)	12%
販管費(率)	1,731 (41%)	2%	1,743 (38%)	1%	1,827 (35%)	5%
営業利益	447	11%	528	18%	707	34%
経常利益(率)	427 (10%)	11%	494 (11%)	16%	635 (12%)	29%
当期純利益	236	45%	317	34%	369	16%

□ 2009年3月期決算のポイント

◆ 売上高は5,181百万円(前期比12%)と躍進

- フィットフィックスの大学病院・大手病院への新規案件獲得
- キューインポットのキャンペーン活動効果
- 静脈麻酔への主流手技の移行に対応したシリンジェクターの拡販
- 他社製品から当社製品への置き換わり(シリンジェクター関連)

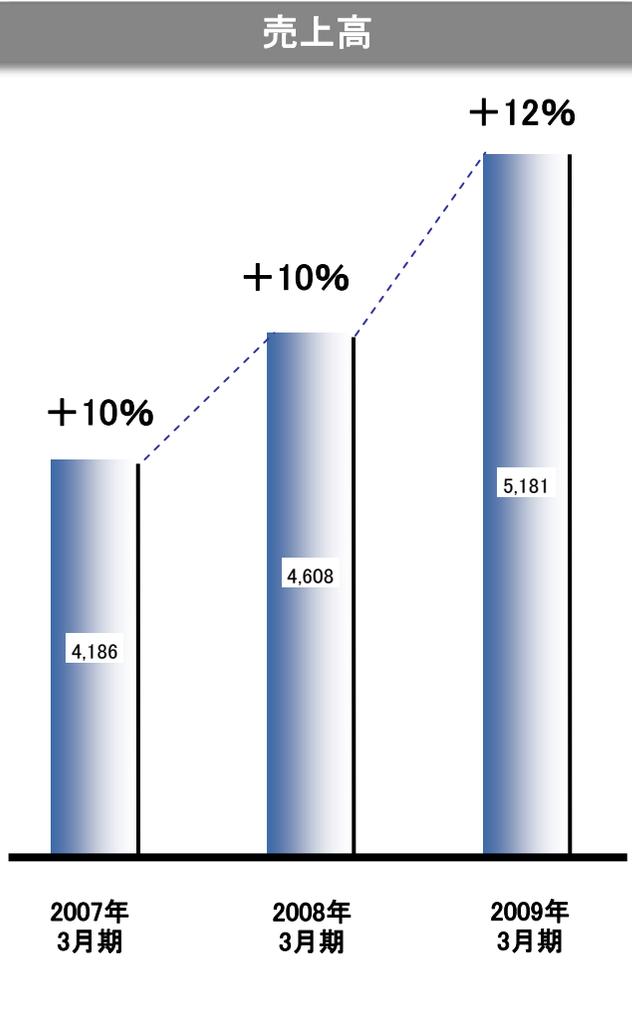
◆ 経常利益は635百万円(前期比29%)と大幅増

- 上場記念特別賞与の発生
- 脳保護装置を中心とした研究開発費の増加
- 予算圧縮により販管費の対売上高率が3ポイント減少
- 株式上場達成による費用の発生(51百万円)
- 資本金増加(1億円超)に伴い各種優遇税制の適用不可

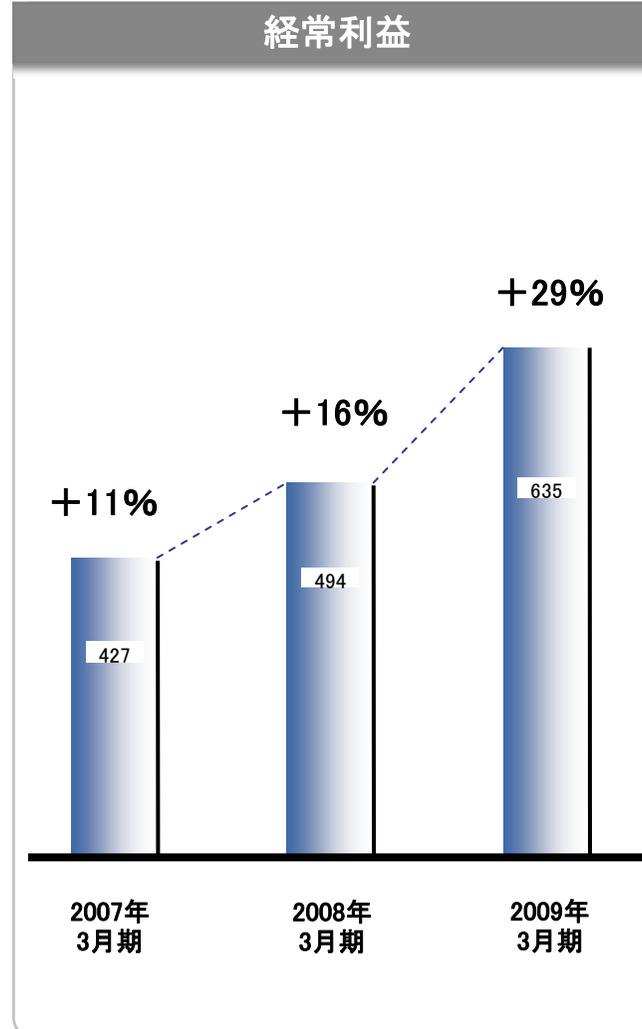
□ 2009年3月期売上・利益状況

(単位:百万円)

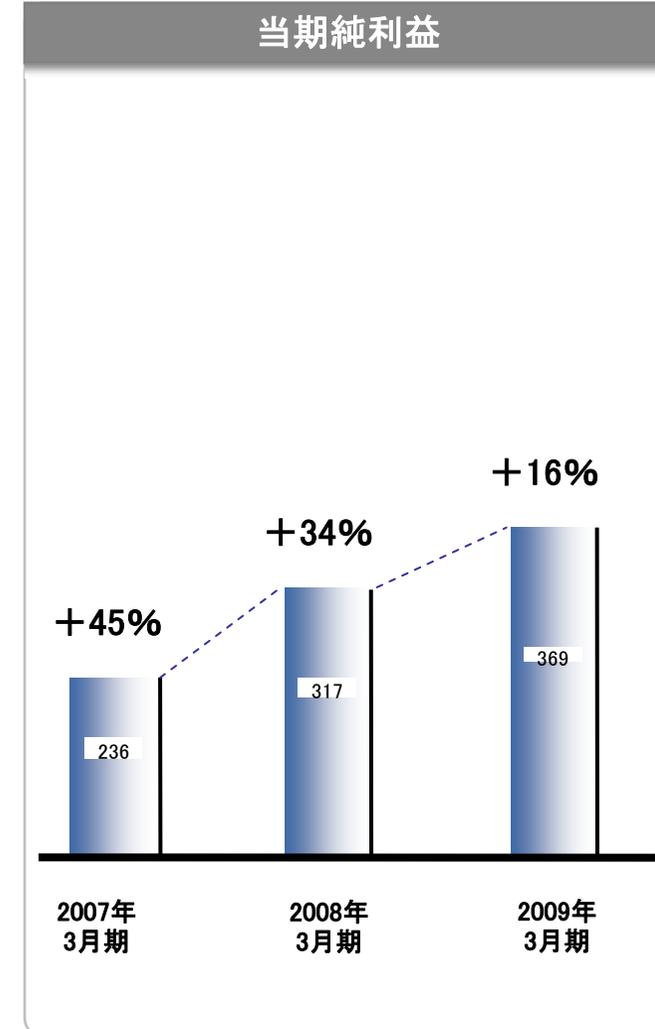
売上高



経常利益



当期純利益



□売上構成(セグメント別)の推移

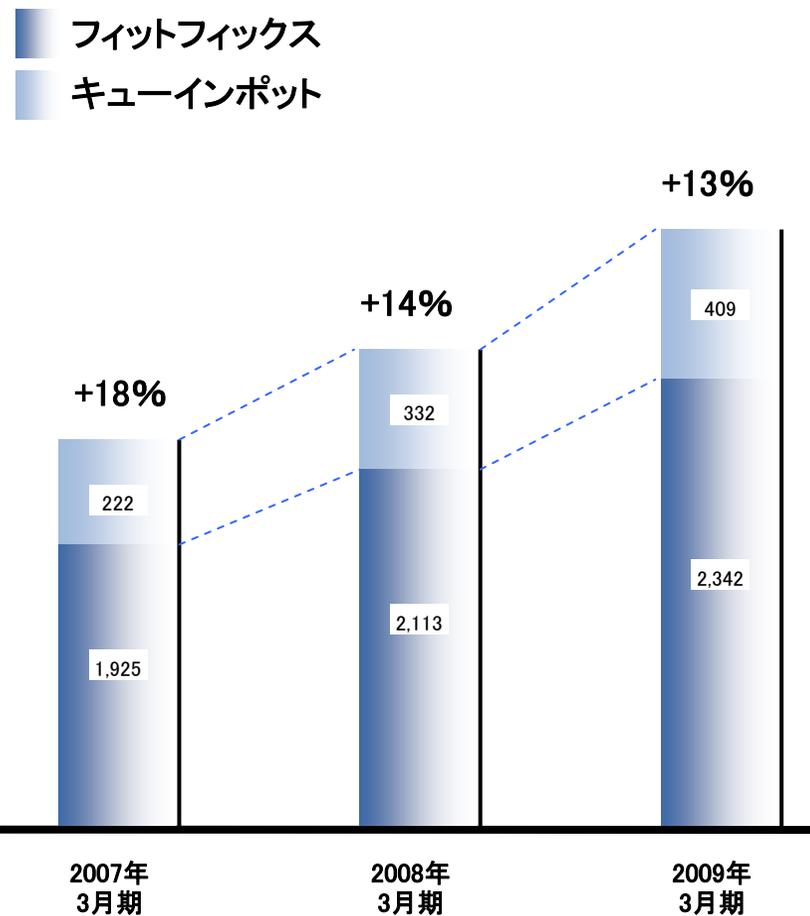
キューインポット・PCAセットが躍進

(単位:百万円)

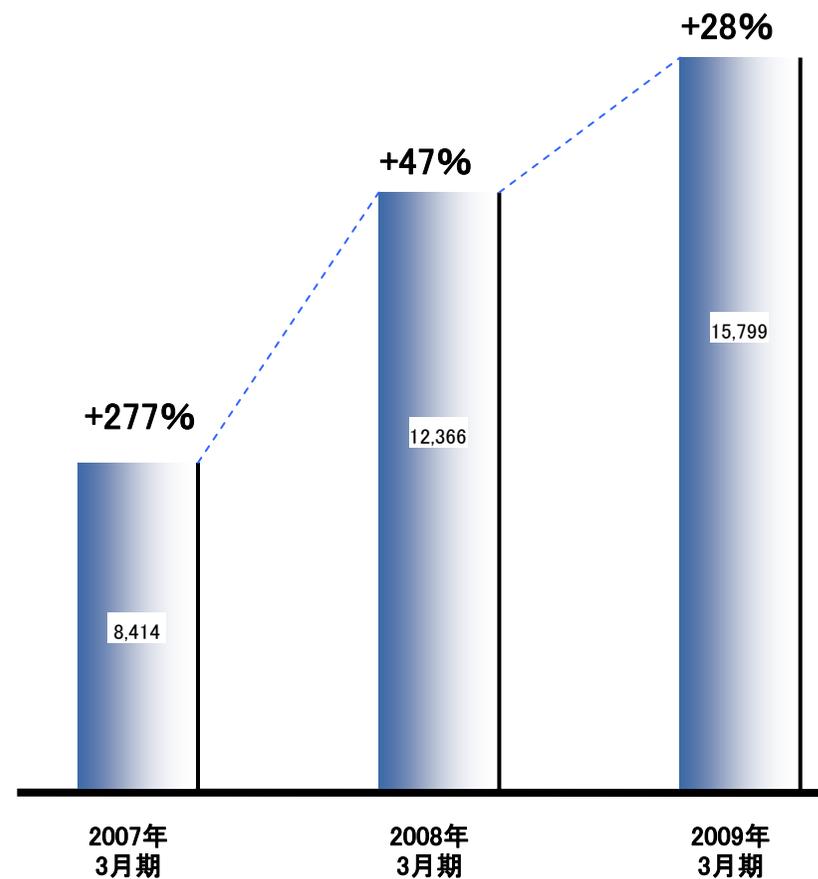
	2007年3月期		2008年3月期			2009年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
フィットフィックス関連 (キューインポットのみ)	2,147 (222)	51% (5%)	2,445 (332)	53% (7%)	14% (50%)	2,751 (409)	53% (8%)	13% (23%)
シリンジェクター関連 (PCAセットのみ)	925 (412)	22% (10%)	1,064 (548)	23% (12%)	15% (33%)	1,352 (819)	26% (16%)	27% (49%)
電動ポンプ関連	137	3%	126	3%	-8%	111	2%	-12%
手洗い設備関連	737	18%	691	15%	-6%	685	13%	-1%
その他	238	6%	279	6%	17%	282	5%	1%
合計	4,186	100%	4,608	100%	10%	5,181	100%	12%

《フィットフィックス関連》

【売上金額】 (単位:百万円)

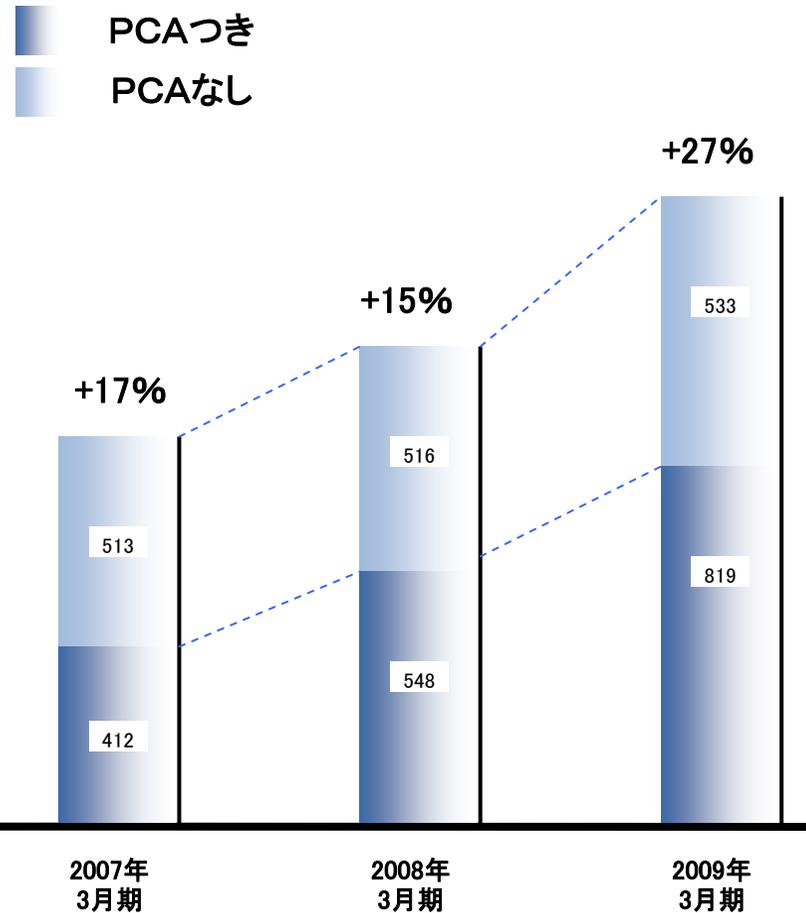


【キューインポット(ライナーのみ) 売上数量】 (単位:ケース)

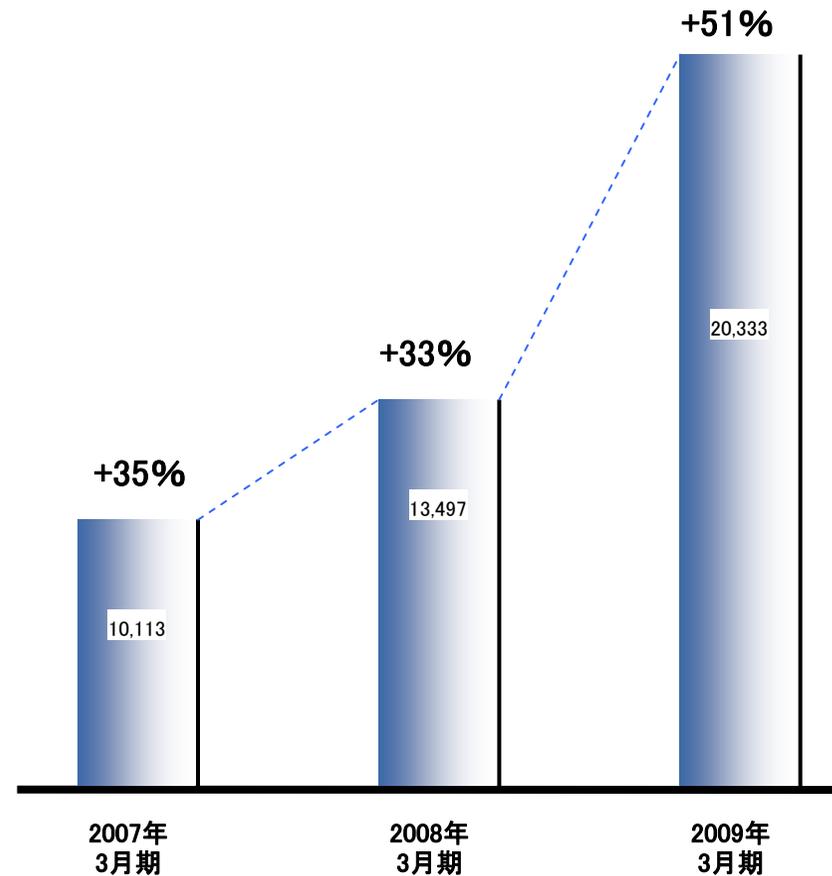


《シリンジェクター関連》

【売上金額】 (単位:百万円)



【PCAつきシリンジェクター売上数量】(単位:ケース)

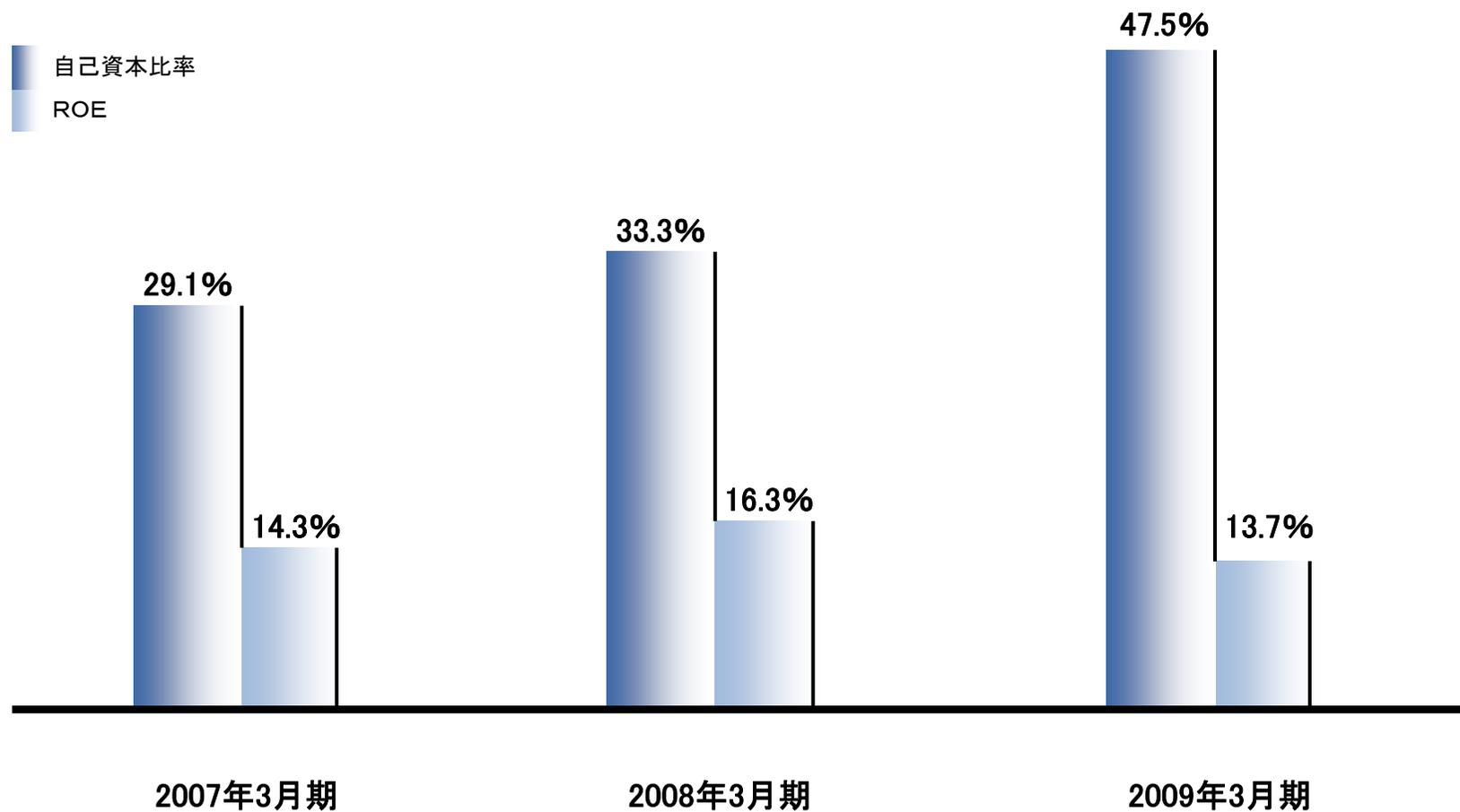


□財務健全性の向上

(単位:百万円)

	2008年3月期		2009年3月期	
	金額	増減率	金額	増減率
流動資産	3,360	5%	3,845	14%
固定資産	3,030	6%	3,063	1%
資産合計	6,391	5%	6,908	8%
流動負債	2,666	3%	2,335	△12%
固定負債	1,594	△8%	1,291	△19%
負債合計	4,261	△1%	3,627	△15%
純資産合計	2,130	20%	3,281	54%
負債純資産合計	6,391	5%	6,908	8%

□ ROE10%以上を維持





Ⅲ. 2010年3月期 業績見通し・成長戦略

□2010年3月期商品群別売上見通し

フィットフィックス・シリンジェクター関連が引き続き好調に推移

	2009年3月期 (実績)		2010年3月期 (見通し)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減比 (%)
フィットフィックス 関連 (キューインポットのみ)	2,751 (409)	53 (8)	2,940 (511)	53 (9)	7 (25)
シリンジェクター 関連 (PCA セットのみ)	1,352 (819)	26 (16)	1,528 (963)	27 (17)	13 (18)
電動ポンプ 関連	111	2	102	2	△8
手洗い設備 関連	685	13	700	13	2
その他	282	5	330	5	17
合計	5,181	100	5,600	100	8

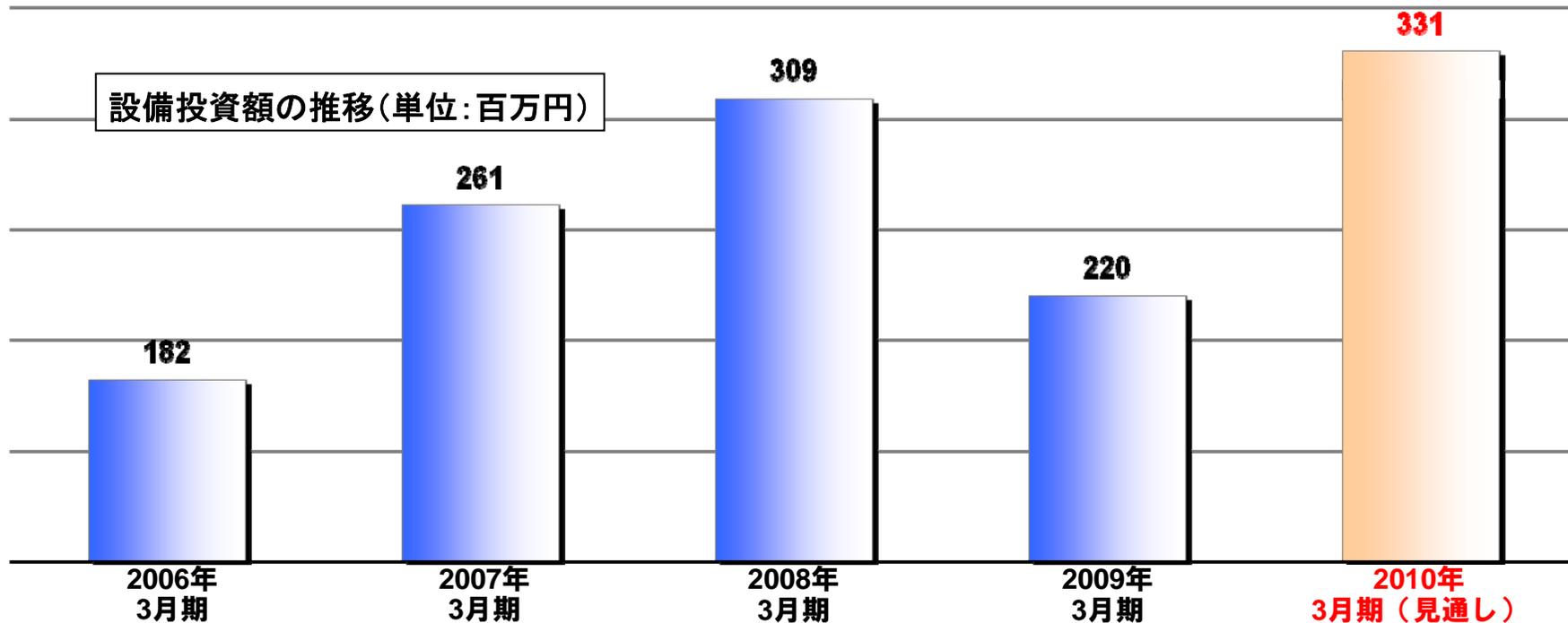
□ 2010年3月期業績見通し&配当

2010年3月期も増収増益見通し

	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (見通し)	増加率
売上高	5,181百万円	5,600百万円	8%
営業利益	707百万円	726百万円	3%
経常利益	635百万円	700百万円	10%
当期純利益	369百万円	410百万円	11%
1株当たり配当額	22円	29円	32%

■ 設備投資

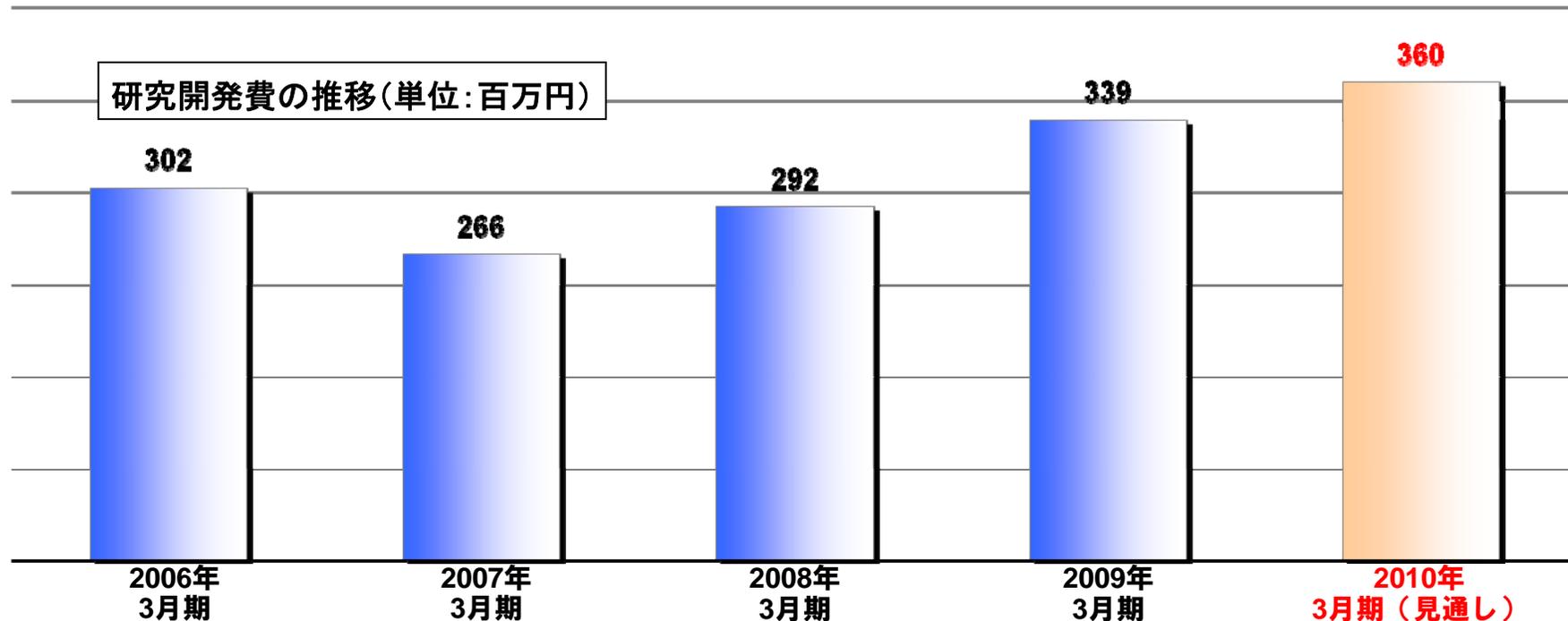
- 新製品等の開発及び生産能力増強に対し重点投資予定



■ 研究開発費

研究開発費比率（対売上高）は毎年6%～8%内外で推移

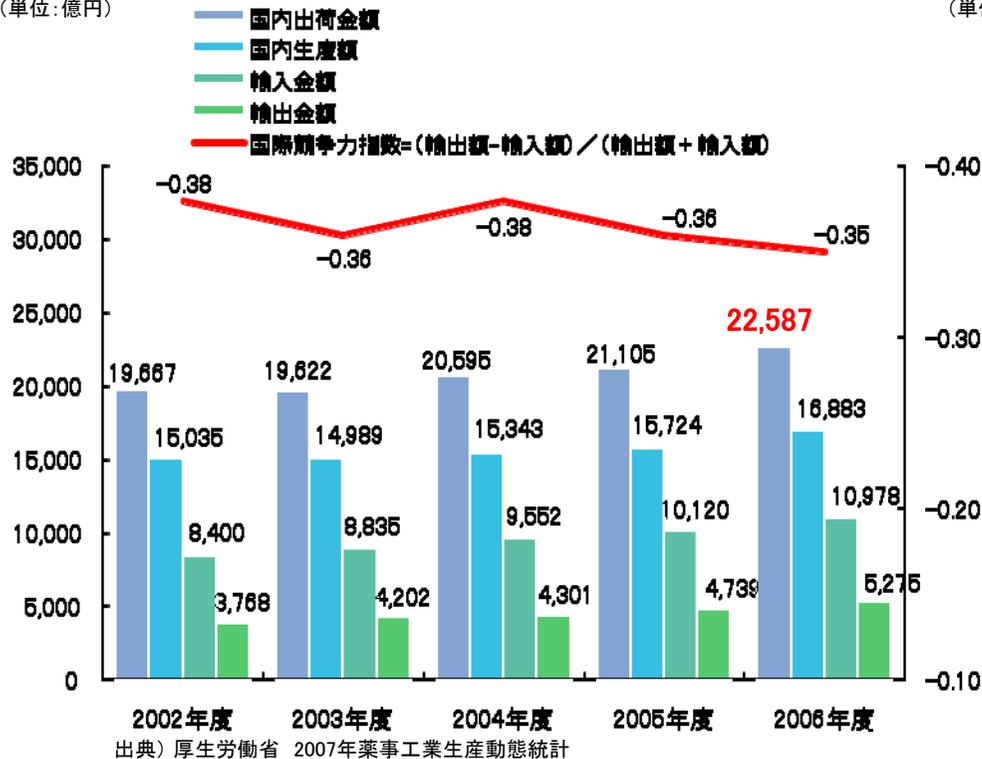
- 2010年3月期は、脳保護装置、プレフィルド型注入器に重点投資予定



市場規模(国内)

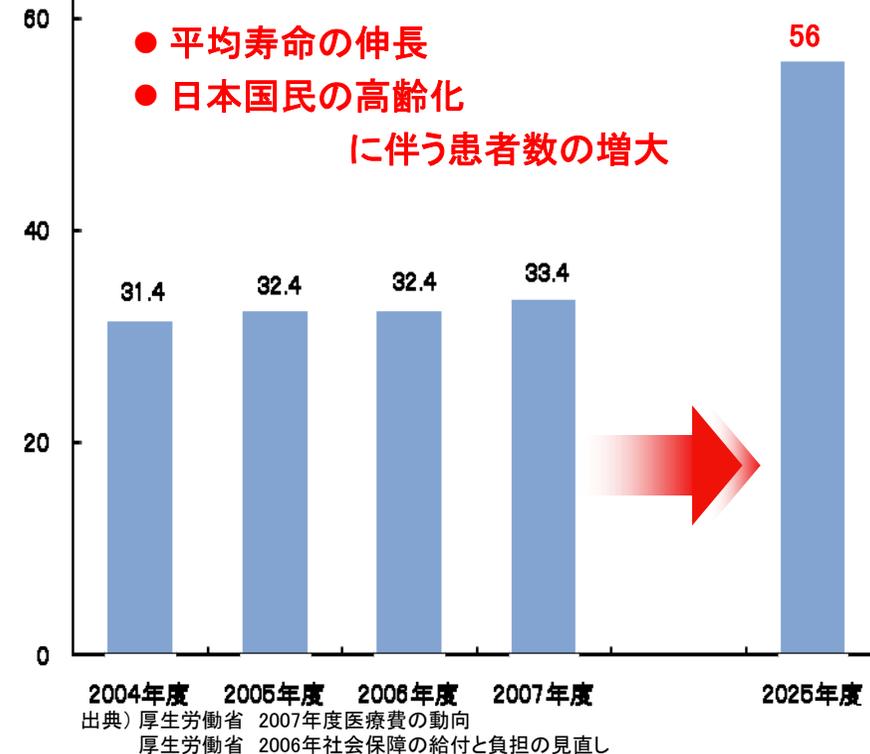
国内医療機器市場の推移(出荷数ベース)

(単位:億円)



国内医療費の推移

(単位:兆円)

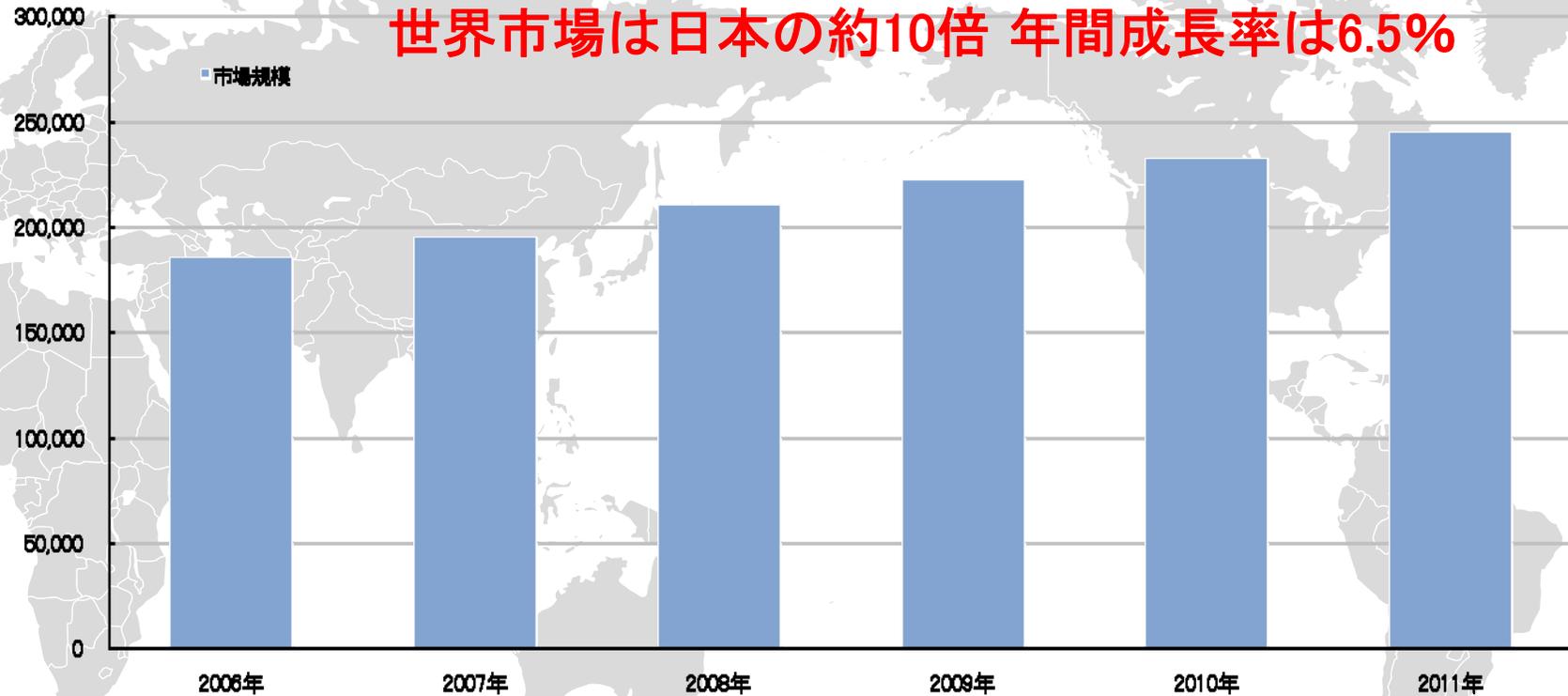


高齢化に伴う患者数増大でマーケットは拡大が見込まれる

市場規模(海外)

世界の医療機器マーケット

(US million)



出典) 厚生労働省 2008年新医療機器・医療技術産業ビジョン

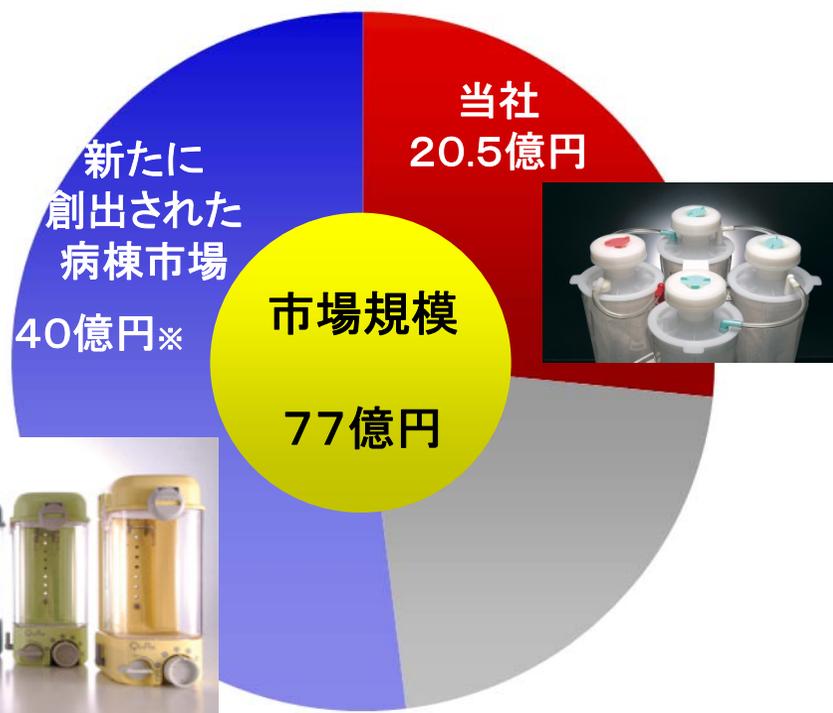
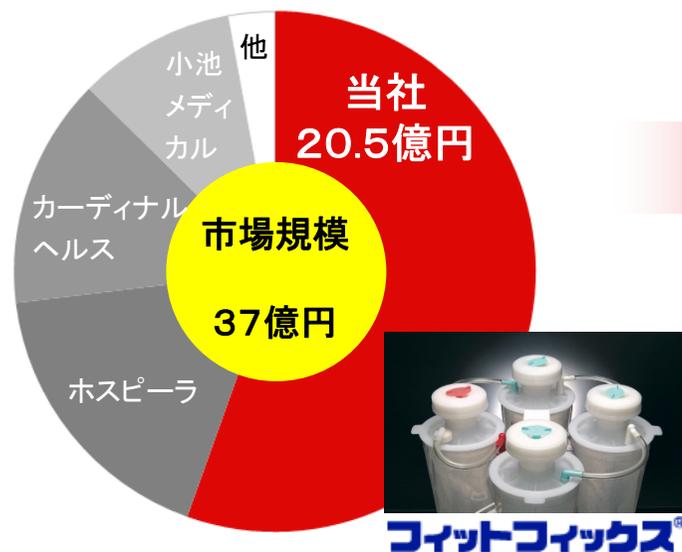
今後の成長戦略

製品	<h2>① 既存製品</h2>	<h2>② 新製品</h2>
	<h3>現存市場の強化・拡大</h3> <p>現存市場での競争力を高め、周辺市場を取り込む</p> <p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィットフィックス …… 排液処理システムの効率化 ・QinPot …… 病棟市場のディスポ化 ・シリンジエクター …… 薬液のプレフィルド化 	<h3>医科領域拡大</h3> <p>これまでに確立した麻酔科との信頼関係を手がかりに外科、救命救急等への連携医科領域を拡大する</p> <p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳保護装置 ・内視鏡手術支援ロボット、等
市場	<h2>③ 海外展開</h2>	
	<h3>海外市場</h3> <p>代理店を通じて海外展開を積極推進</p> <p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに40ヶ国以上、43の代理店と契約済 	<h3>海外生産</h3> <p>品質維持を大前提として、アジア等での生産を推進</p> <p>コストダウンを図る</p>

フィットフィックス関連 ～病棟にも安全と簡便を

手術室における吸引器トップシェアのフィットフィックスに続き、病棟専用開発されたキューインポットが、新たに40億円の市場を創出。

国内市場シェア(2006年度)



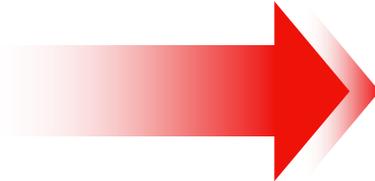
出典：矢野経済研究所「2007年版 汎用品市場の将来展望」

※当社病院実績情報より算出

手術室ではフィットフィックスがトップシェア

病棟においてもキューインポットがトップシェアを目指す

シリンジェクター関連 ～より安全で簡便な新しい麻醉へ



医薬品の販売

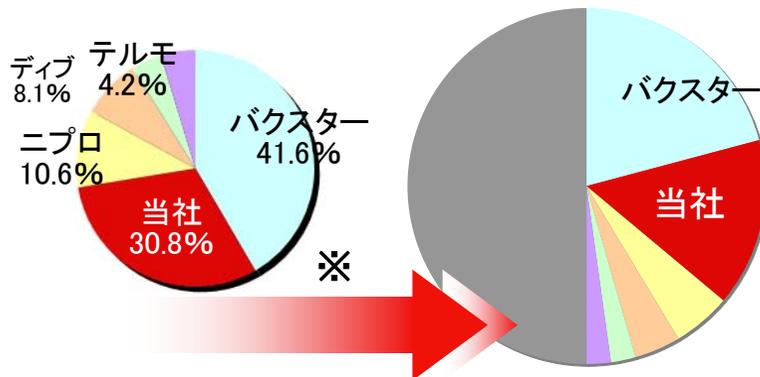
プレフィルド型医薬品注入器の開発

- 調剤間違いの防止
- 充填に伴う汚染の防止

当社算出潜在市場規模110億円※

※「2005年薬事工業生産動態統計」(厚生労働省医政局)の数値を基に当社にて算出

市場の拡大



「世界初となる独創的な技術で

医療に革命をもたらす」

COOPDECHのプレフィルド機器に充填する薬品の選定を進め、あくなきQOLの追求とともに新しいステージへ

脳保護装置 ～ 命を救う救命救急領域の研究開発

- 病院外心肺停止患者10万人(国内)の命を救う(現在は1ヶ月後生存率10%程度)
- 大学病院を中心に全国病院、救命救急センターで臨床研究を実施予定。

「世界初となる独創的な技術で医療に革命をもたらす」



商品開発研究所(大阪府和泉市)

本資料及びIRに関するお問合せ先

大研医器株式会社
管理本部 財務・経理グループ

TEL 06-6231-9917

URL <http://www.daiken-iki.co.jp/ir/>

本資料における将来の予想等に関する各数値、戦略等は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。